

AAALA（アジア系アメリカ文学会）第 159 回例会

特別企画（共催：中国文芸研究会）：ミニ・シンポジウム

「劉慈欣『三体』をトランスボーダー文学として読み直す」



2025
7.20
日 13:00
陽 |
日 16:00
オンライン
(Zoom)

『三体』とアジア的思弁小説の伝統

特別パネリスト：巽孝之 氏（慶應義塾大学名誉教授、SF 批評）

『三体』における死の位相と悲壮美の成立——愚かさ・愛・倫理の表象と文化的受容

上原かおり 氏（フェリス女学院大学、中国 SF 研究、『三体Ⅱ』日本語版共訳者）

「人類を超えて——『三体』におけるポストヒューマンの未来像」

楊靈琳 氏（岡山理科大学、中国 SF 研究）

『三体』と（アジア系）アメリカ文学

山本秀行（司会兼：神戸大学、AAALA 会長）

※非会員の方の参加も歓迎します。奮ってご参加ください。

<参加方法>

2025年7月13日までに以下のリンクまたはQRコードで
事前登録してください。

<https://forms.gle/3Y65gZJt7E8kVtNY7>

<問い合わせ先>

アジア系アメリカ文学会事務局

aala.jp.office★gmail.com（★→@）



※科研費・基盤研究 (B) : 「アジア系トランスボーダー文学」の包括的研究枠組創成と世界的研究ネットワーク構築
(代表者：山本秀行、研究課題番号：23K25310) の助成を受けています。